## **ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS**

Vol.46 483-486 (145)

THE LEVELS OF PCDFS AND PCDDS IN THE 5 KINDS OF FISHES IN KOREA

Yunje Kim, Sun Young Lee and Myungsoo Kim

((タイトル))

韓国の5種類の魚類中のPCDFs及びPCDDsレベル

((キーワード))

((summary))

Vol.46 487-490 (146)

STRATIFICATION OF PCBs IN THE BLUBBER OF BELUGA WHALES (Delphinapterus leucas) FROM THE ST.LAWRENCE ESTUARY

Michel Lebeuf, Karen Bernt, Mike Hammill and Lena Measures

((タイトル))

セントローレンス川三角州におけるシロイルカの皮下脂肪中PCBsレベルの層化

((キーワード))

((summary))

Vol.46 491-494 (147)

PCDDS, PCDFS AND CO-PCBS IN TOKYO BAY: SOURCES AND CONTRIBUTION

Yuan Yao, Hideshige Takada, Shigeki Masunaga and Junko Nakanishi

((タイトル))

東京湾のPCDDS、PCDFS及びCO-PCBS:発生源及び寄与

Vol.46 495-498 (148)

# TRANSFER OF PCDD/Fs FROM THE ENVIRONMENT INTO COWS MILK

Steven J. Holmes and Kevin C. Jones

((タイトル))

環境から牛乳へのPCDD/Fsの移行

((キーワード))

牛乳、PCDD/Fs

((summary))

UKで、ある農場の牛乳からダイオキシン類が検出されたため、 汚染されていない地域の乳牛をそこに持ちこみ、 6ヶ月間毎週牛乳のサンプリングを行った。 同時に大気、牧草、土壌も調査した。その結果週を重ねるごとに 牛乳中のダイオキシン類濃度は高くなり、 特に2,3,7,8-塩素置換体が増加した。 しかし土壌や牧草で優先的であったOCDDは6ヶ月たっても

優先的にはならず、低塩素置換体の方が多く移行していた。

Vol.46 499-502 (149)

PCDD/F AND PCB CONCENTRATIONS IN COWS' MILK FROM FARMS ON FLOODPLAINS OF RIVERS IN ENGLAND AND WALES

Chris Faxall, Martin Rose, Clive Robinson, Shaun White, Andrew Lovett and Gisela Sunnenburg

((タイトル))

イングランドおよびウェールズにおける河川氾濫原上の 農場の牛乳中PCDD/Fs及びPCB濃度

((キーワード))

牛乳、氾濫原、PCDD/Fs、PCBs

((summary))

汚染された河川の氾濫原で牧草や土壌汚染が起こっている。 よって、氾濫原上にある牧場で牛乳のPCDD/DFとCo-PCB汚染の調査を行った。 17の牧場から採取された牛乳中の濃度はWHO-TEQで 1.69-8.50ng/kg-fatの範囲で検出された。Non-ortho PCBsの寄与が 特に大きかった。 Vol.46 503-506 (150)

POLICHLORINATED DIBENZO-para-DIOXINS AND DIBENZOFURANS IN FISH OF THE ANGARA RIVER.

Alexandre A. Mamontov, Elena A. Mamontova, Eugenia N. Tarasova and Zarema

((タイトル))

アンガラ川の魚類中PCDD/Fs

((キーワード))

バイカル湖、アンガラ川、魚、PCDD/Fs、パルプ工業

((summary))

バイカル湖のダイオキシン類汚染源の一つであるアンガラ川の魚を調査した。 結果は上流から下流にかけて濃度は不規則であり、 最大濃度を示したのは上流域のサンプルだった。

またこれらの試料からこの川の汚染は主にパルプ工業由来である事が考えられた。

Vol.46 507-509 (151)

PCDD/Fs AND OTHER CHLORINATED POPS IN BLACK-TAILED GULLS FROM HOKKAIDO, JAPAN

Jae-Won Choi, Muneaki Matsuda, Masahide Kawano, Tadaaki Wakimoto, Naomasa Iseki, Shigeki Masunaga, Shin-ichi Hayama and Yutaka Watanuki

((タイトル))

北海道のウミネコ中PCDD/Fs及び他の有機塩素化合物

((キーワード))

ウミネコ、PCDD/Fs、PCBs、DDTs、HCHs、CHLs、HCB

((summary))

沿岸生態系の頂点にあるウミネコ(Larus crassirostris)の成鳥と卵に蓄積しているダイオキシン類、コプラナPCBsさらにその他の有機塩素化合物の汚染状況を調査し、毒性学的評価を行った。対象化合物の蓄積レベルはPCBs>DDTs>HCHs>CHLs=HCB>non-ortho PCBs> PCDD/Fsの順であり、韓国産ウミネコの結果と同様であった。卵のTEQ値はウミネコに対して毒性を及ぼすほどではなく、バックグラウンドレベルとして位置付けられる。

ちぇさん

Vol.46 510-513 (152)

# CONTAMINATIONS OF THE ENVIRONMENT IN AZERBAIJAN WITH DIOXIN XENOBIOTICS

Mustafa Salakhov, Gulchehra Aliyeva, Arif Islamzade and Ayaz Efendiev

# ((タイトル))

PCDD/Fs等生体異物によるアゼルバイジャンの環境汚染

## ((キーワード))

カスピ海、汚染物質

# ((summary))

様々な汚染物質が、焼却過程や、農薬製造時の2次生成物として 環境中に放出されている。アゼルバイジャンでもそれは例外ではなく、 ダイオキシン類の前駆物質が工場の排水中に多く検出される。 カスピ海にはアゼルバイジャン以外の国からも多くの 工場由来の排水が流れ込んでくるため、その汚染防止に取り組み始めた。

# ((コメント))

訳してないですが法律など書いてあります。

Vol.46 514-517 (153)

# BEHAVIORS OF DIOXINS IN LAKE SHINJI BASIN DURING THE PAST 50 YEARS

Shigeki Masunaga, Yuan Yao, Isam Ogura, Masumi Yamamuro, Junko Nakanishi

# ((タイトル))

過去50年間における宍道湖周辺のDIOXINSの挙動

# ((キーワード))

宍道湖、コア、ダイオキシン類、CNP、PCP

#### ((summary))

宍道湖の底質コアを採取し、ダイオキシン類の挙動を調査した。 その結果、ダイオキシン類は1960年代から急激に増加し、 その由来は主にCNP、PCPで、その他は焼却由来と考えられた。 しかし、それら農薬を中止した頃からダイオキシン類は減少し始めた。 0.9-1.4%/年、そして半減期50-77年の割合で今後も減少していくと考えられたが、 農地からの流出が長期にわたり続くものと思われる。 Vol.46 518-521 (154)

POLYCHLORINATED DIBENZO-P-DIOXINS AND POLYCHLORINATED DIBENZOFURANS IN VEGETATION IN THE VICINITY OF INDUSTRIALAREA IN KOREA

Gon Ok, Sung-Hee Ji, Sang-Jo Kim, Hyo-Bang Moon, Young-Kyo Kim, Young-Seup Kim and Young-Ho Han

((タイトル))

韓国における工業地域近郊の植生中ダイオキシン類

((キーワード)) ダイオキシン類、大気汚染

((summary))

ローカル地域でダイオキシン類による大気汚染の指標としての 植物の有効性を検討した。水田から藁、果樹園からナシの葉を採取し、 大気サンプル(ガス態と粒子態)と同属体組成を比較した。 その結果、藁、ナシの葉ともガス態と似た組成であった。 このため、植物の汚染にはガス態の寄与が大きいと考えられた。 Vol.46 522-525 (155)

LEVELS OF POLYCHLORINATED DIBENZO-P-DIOXINS AND DIBENZOFURANS IN LIVERS OF BREAMS (ABRAMIS BRAMA) FROM THREE RIVERS OF GERMANY

Bernhard Henkelmann, Jarmila Kotalik, Karl-Werner Schramm, Antonius Kettrup

# ((タイトル))

ドイツの3河川における淡水魚肝臓中のPOLYCHLORINATED DIBENZO-P-DIOXINS 及びDIBENZOFURANSのレベル

((キーワード)) ダイオキシン類、魚類

### ((summary))

ドイツの3つの河川のダイオキシン類汚染モニタリングの為に 淡水魚の肝臓の分析を行った。結果はエルベ川57.3-162pg/g-TEQ(fat)、 ライン川85.6-261.5pg/g-TEQ(fat)、ザール川35.8-41.1pg/g-TEQ(fat)の 範囲で検出された。ほとんどのサンプリングポイントでPCDF、 特に2,3,7,8-TCDFが優先的に検出された。全体的に下流の方が濃度が高いものの、 下流から急激に増加しているわけではないようである。 ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS Vol.46 526-529 (156)

MONITORING OF POLYCHLORINATED DIBENZO-P-DIOXINS AND POLYCHLORINATED DIBENZOFURANS IN THE KOREAN COAST USING MUSSEL AND OYSTER

Hyo-Bang Moon, Hee-Gu Choi, Sang-Su Kim, Pil-Yong Lee and Gon Ok

((タイトル))

ムラサキイガイとカキを用いた韓国沿岸におけるPCDD/Fのモニタリング調査

((キーワード)) ムラサキイガイ、カキ、PCDD/F

(summary)

韓国沿岸におけるダイオキシン類モニタリングの為、 ムラサキイガイとカキを分析した。総濃度で8.98-38.68pg/g wet の範囲で検出され、 PCDFの濃度が高かった。全ての地点の異性体組成も類似しており、 低塩素の割合が大きかった。また、Chinhae沿岸で採取した 両種のパターンが似ていた事から、この両種は地域的な汚染の指標となりうる。 ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS Vol.46 530-533 (157)

EXTRACTABLE ORGANOHALOGENS (EOX) IN SEDIMENT AND MUSSEL TISSUES FROM THE KENTUCKY LAKE AND KENTUCKY DAM TAILWATER, USA

B.G. Loganathan, M. Kawano, K.S. Sajwan and D.A. Owen

((タイトル)) ケンタッキー湖とケンタッキーダム(アメリカ)における底質ならびにムラサキイガイ中のEOX ((キーワード))

((表題))

ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS Vol.46 534-537 (158)

A Study of the Mass Balance of Dioxins and Furans in Lactating Cows in Background Conditions. Part 1: Study Design and Analysis of Feed

Dwain Winters, Greorge Fries, Matthew Lorber, Joseph Ferrario, Christian Byrne

#### ((タイトル))

バックグラウンドにおける乳牛中のPCDD/FのMass Balanceについて その1:飼料について

## ((キーワード))

PCDD/F、Mass Balance、乳牛、生物濃縮係数

#### ((summary))

ダイオキシン様作用をなす汚染物質による人体暴露は

その95%が動物性油脂の消費による。普段人間が口にしている動物は

餌から暴露していると一般的に考えられているものの、

餌についてのダイオキシン様物質についてのデータは限られている。

この研究の目的は家畜にとって餌が主な暴露源であることを確かめる事である。

これはMass Balanceの研究を行う事により完遂する。

次に、そのMass Balanceのデータから、安定した生物濃縮係数を得ることである。

餌が食用動物の暴露源であったとするならば、将来の研究において

これらの濃縮係数が餌や牛乳の濃度を知るのに用いられるだろう。

この研究は2つのパーツに分けて記述されている。

この報告では餌についてのダイオキシン類濃度のデータを報告し、

それらの流動性についていくつかの結論を出し、

そして多様な要素により構成された餌の全体的な濃度に寄与する事である。

次の報告の概要は、Mass Balanceについての結果とPCDD/DF同属体の

生物濃縮係数について述べている。

# ((coment))

その2がCDに入っておらず、要約もしにくかったため、その1のイントロだけを訳してみました。

ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS Vol.46 542-545 (160)

AN STUDY OF THE TOXIC EQUIVALENTS DERIVED FROM PCDDs, PCDFs AND DIOXIN-LIKE PCBs IN TWO BIRD SPECIES (Ciconia ciconia and Milvus migrans) NESTING IN A PROTECTED AREA (DONANA NATIONAL PARK, SPAIN).

B. Jimenez, B. Gomara, R. Baos, F. Hiraldo, E. Eljarrat, J. Rivera and M.J. Gonzalez

#### ((タイトル))

2種の鳥(コウノトリ (Ciconia ciconia)、トビ (Milvus migrans))の保護地域における PCDD/F、Co-PCB由来のTEQについて

((キーワード)) PCDD/F、Co-PCBコウノトリ、トビ

# ((summary))

湿地近くに営巣しているトビとコウノトリの卵を採取し、PCDD/Fs、PCBsの分析を行った。PCDD/Fsの結果は総濃度でトビが10.40-13.46pg/g wetで、コウノトリが4.56-69.56pg/g wetであった。PCDDが総濃度の8割を占めていた。PCBsは 77、126、169の総濃度でトビが39-52pg/g wetで、コウノトリが4-78.77 pg/g wetであった。

ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS Vol.46 546-549 (161)

A TWO YEARS SURVEY ON PCDDs AND PCDFs IN AN AREA AFFECTED BY A MUNICIPAL SOLID WASTE INCINERATOR. STUDY OF SOILS, GRASS, FORAGE, COW'S MILK AND CATTLE FAECES.

B. Jimenes, M.A. Concejero, E. Abad, E. Eljarrat, J. Rivera and M.J. Gonzalez

# ((タイトル))

都市ゴミ焼却場の影響がある地域の土壌、牧草、飼料、牛乳、牛糞中のPCDDs、PCDFsの2年間の調査について

## ((キーワード))

土壌、牧草、飼料、牛乳、牛糞、 PCDD/F、CWI、MSWI

## ((表題))

図1)都市ゴミ焼却施設の影響がある1998年から1999年の間に研究された試料すべてにおいて

総PCDD/Fレベルが (pg/g) オーダーで検出された

## ((summary))

都市ごみ焼却施設によって影響を受けた放牧場(牛)の、2年間にわたる環境モニタリング調査の結果を報告する。土壌、牧草、飼料、牛乳、牛糞中のPCDDs、PCDFsを調査した。 結果、都市ごみ焼却施設から400-2000m離れた地域の土壌が一番高く汚染されていた。 また、牛からの汚染物質の除去で重要なルートは排泄である事もわかった。 ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS Vol.46 550-553 (162)

PCDD/F CONTAMINATION IN CITRUS PULP PELLETS FROM BRAZIL: STATUS OF THE MONITORING PROGRAM

Gabriela Kernick Carvalhaes; Paul Brooks; Carla Gama Marques; Thomas Krauss

((タイトル))

ブラジルにおけるCPP(柑橘パルプペレット)のPCDD/F汚染: モニタリング調査について

((キーワード))

ブラジル、柑橘ペレット、ダイオキシン類

((summary))

1997年にドイツの乳牛中脂肪から高濃度のPCDD/Fが検出された。 その原因はブラジルから輸出された柑橘ペレット (CPP)であった。 牛の餌となるその柑橘ペレット濃度はI-TEQで500pg/kgであった。 1999年に、500を越える柑橘ペレットを分析した結果、I-TEQで500pg/kg を超える試料はなかった。

((コメント))

詳しくはこちら

http://www.maff.go.jp/soshiki/keizai/kokusai/kikaku/1998/19980724eu17b.htm

ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS Vol.46 554-557 (163)

DETERMINATION AND COMPARISON OF PERSISTENT
ORGANOCHLORINE COMPOUNDS IN THE
GREAT HORNED OWL (Bubo virgianius)- LIVER VERSUS WHOLE
CARCASS

James Fox, Joseph Palausky, Mark Davis, J.T. Lanigan , Steven Baca, and Gerry Henningsen

#### ((タイトル))

アメリカワシミミズク(Bubo virgianius)の肝臓と全組織における残留性有機塩素化合物の定性と比較

## ((キーワード))

アメリカワシミミズク、 PCDD/F、Non/Mono-ortho PCBs

# ((表題))

表1)ミミズクの全組織と肝臓の分析結果

# ((summary))

コロラド州デンバーでアメリカワシミミズクを採取しPCDD/F, Non/Mono-ortho PCBs を肝臓とその他に分けて分析した。結果、肝臓にMono-ortho PCBsが高く蓄積している試料があった。

ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS Vol.46 558-561 (164)

ISOMER SPECIFIC ANALYSIS OF MONO- TO TRICHLORINATED
DIBENZOFURANS AND DIBENZODIOXINS - ANALYSIS OF AMBIENT AIR

Takeshi Nakano and Roland Weber

# ((タイトル))

1~3塩素化フランおよびダイオキシンの定性分析 ~環境大気の分析

#### ((キーワード))

Ambient air, PCDD/F(MCDD/F-T3CDD/F), Assignment

# ((表題))

- 図 1 ) 代表的な環境大気中MCDF-T3CDFのGC/MS-SIMクロマトグラム
- 図2)PCDFの同族体組成(環境大気)
- 図3)代表的な環境大気中MCDD-T3CDDのGC/MS-SIMクロマトグラム
- 図4)PCDDの同族体組成(環境大気)

# ((summary)

第9回環境化学討論会講演要旨集参照願います。

ENVIRONMENTAL LEVELS - POSTERS Vol.46 562-565 (P.165)

A COMPARISON OF TEQ CONTRIBUTIONS FROM CHLORINATED DIOXINS, FRANS AND DIOXIN- LIKE PCBS IN GREAT LAKES FISH

T.M. Kolic, K.A. MacPherson, E.J. Reiner, T. Gobran and A. Hayton

((タイトル))

五大湖の魚中塩素化ダイオキシン、フランおよびダイオキシン様PCBのTEQ寄与の比較

((キーワード))

五大湖、魚、 PCDD/F、 DLPCB

((表題))

表1)ダイオキシン様PCB(DLPCB)ならびにPCDD/FのTEQ平均値

((summary))

オンタリオ湖付近での魚中PCDD/F、DLPCBのパターンとTEQへの寄与を調査した。 ほとんどのサンプルでTEQへの、PCBの寄与が高かった。

((コメント))

もっと場所的に細かに説明してあります。